

原料費調整制度に基づく都市ガス料金単価の調整について (2014年2月 検針分)

2013年9月～2013年11月のLNG及びLPGの貿易統計値が発表されました。
原料費調整制度に基づき、基準単位料金を調整させていただきます。

2014年2月 検針分の単位料金は2014年1月 検針分 に比べて、1m³(45MJ)当り
0.3570円(消費税込)、標準家庭(26m³)では月額 9 円の調整を行うこととなりました。

●一般ガス供給約款料金における調整単位料金

(消費税込)

	単位	(A) 2014年1月	(B) 2014年2月	(B)-(A)
A料金表 (0m ³ ～24m ³)	円/m ³	242.7695	243.1265	0.3570
B料金表 (24m ³ を超える)	円/m ³	186.3869	186.7439	0.3570

●平均原料価格

	単位	2013年8月 ～ 2013年10月	2013年9月 ～ 2013年11月	基準平均原料価格
LNG平均価格 (貿易統計値)	円/トン	78,060	78,340	
LPG平均価格 (貿易統計値)	円/トン	86,150	87,530	
平均原料価格	円/トン	78,770	79,110	62,680

平均原料価格 = LNG平均価格 × 0.9533 + LPG平均価格 × 0.0506

(10円未満端数四捨五入)

※平均原料価格が100,290円以上となった場合は100,290円

原料価格変動額 = 平均原料価格 - 基準平均原料価格 (平均原料価格が基準平均原料価格以上のとき)
= 79,110 - 62,680 = 16,400 円/トン
(100円未満端数切捨て)

●調整単位料金の算定

平均原料価格が基準平均原料価格以上のとき

調整単位料金 = 基準単位料金 + 0.085 × 原料価格変動額 ÷ 100円 × (1 + 消費税率)

	単位	(A) 基準単位料金	(B) 2014年2月 検針分 調整単位料金	調整額 (B)-(A)
A料金表 (0m ³ ～24m ³)	円/m ³	228.4895	243.1265	14.6370
B料金表 (24m ³ を超える)	円/m ³	172.1069	186.7439	14.6370

(小数点第5位以下の端数切捨て)

●標準家庭のご使用例(1ヶ月分)

1ヶ月分使用量(m ³)	(A) 2014年1月	(B) 2014年2月	影響額 (B)-(A)
26	6,918	6,927	9

計算式・・・基本料金(税込) + 調整単位料金(税込) × 使用量 (1円未満の端数は切り捨て)